

ちょっとひと工夫

NO.10

— 家庭学習改善のための情報 —

教学指導課

新たな家庭学習モデル創出事業の成果

モデル校の取組から明らかになってきた改善のポイント <取組編③>

- A 授業と関連付けた家庭学習にする。
- B 家庭学習の内容について子どもたちが確実に理解したかを評価し、補充指導を行う。
- C 子どもたちが自分で見つけた課題に取り組む家庭学習にもチャレンジさせる。
- D 小中連携して9年間を見通して家庭学習を考える。
- E 子どもたちとともに家庭学習の内容や方法を考え、見直しをしていく。

<< 具体的な取組例 >>

- ・「家庭学習のあり方プロジェクト」を立ち上げ、生徒とともに改善する。生徒が主体的に取り組み、生徒の力となる効果的な家庭学習を目指す。
- ・「家庭学習見直しアンケート」を行い、生徒の意識を捉えて、検討を重ねていく。
- ・職員研修として、生徒がどんな内容をどれくらい時間をかけてやっているかを体験。生徒の目線に立って内容や分量を考えていく。
- ・「宿題が出ても分からないままになっている」という生徒の声を大切に考え、保護者等による「採点→やり直し→再採点のシステム」を構築。

生徒の声を改善につなげる取組

生徒の声

- ・自分で宿題の内容を決めるのは、とてもいいと思う。「今日の授業があまり分からなかった」という日は、その復習ができ、別の日には、前やった単元をやってみるなど、自分に合った宿題ができる。(3年)
- ・自分で考えてやれと言われると、やる気になれないので、指定されたものを必ず提出しろと言われた方がやる気になる。(1年)

生徒の声を踏まえて、学年の実態に応じて課題を設定するなどの改善をしていく。

※ 家庭学習の改善を進めている学校の工夫を紹介しています。参考にご覧ください。

改善のポイント C, E型

子どもや保護者とともに家庭学習について考え、改善しているQ小学校

○改善の取組の具体例

- ・生活習慣や家庭学習の内容を振り返る週間を設定。記入シートに、睡眠時間やTV・ゲームの時間、家庭学習の時間を記入。
- ・家庭学習のめあてを設定。児童は、そのめあてに対して振り返りを記入し提出。
- ・保護者に記入してもらった児童の様子を参照し、必要に応じて保護者と連絡を取りながら、個に応じたアドバイスを実施。
- ・家庭学習として、課題の他に自主学習にも取り組むよう具体例を提示。

改善のポイント A, B型

授業を充実させながら、授業と関連付けた家庭学習にするよう工夫しているR中学校

○授業改善の取組

- ・まず授業を充実させるよう職員が意識統一。
- ・授業におけるねらいの明確化を図るとともに、見とどけの時間の確保を徹底。

○改善の取組の具体例

- ・家庭学習の課題として、授業で扱った内容を問題集から出題。授業内容をさらに理解できるよう工夫。
- ・家庭学習の内容が理解できたかを生徒自身が確認する目的で小テストを実施。家庭学習の内容を確実に理解したかを評価。